

過去に当院で顎関節の手術を受けた患者さんへ

後ろ向き研究

「滑膜軟骨腫症の発症機序に関する研究」

へのご協力をお願い

(1) 研究の概要について

研究題名 : 滑膜軟骨腫症の発症機序に関する研究

(D2015-541)

研究期間 : 歯学系倫理委員会承認後から、令和8年3月31日まで

実施責任者 : 東京科学大学病院 顎顔面外科 儀武啓幸

共同研究機関 : 東京都立広尾病院 歯科・口腔外科 小林 裕

研究の意義・目的について

滑膜軟骨腫症は全身の関節に発症する良性の疾患です。疼痛や腫脹、運動障害などの症状により患者さんの生活の質を著しく低下させます。しかし、発症の原因や機序は未だ解明されておらず、治療法は外科的な摘出のみとされています。本研究では滑膜軟骨腫症の発症や発育に関与する因子を解明することで、将来的に、患者さんにより負担の小さい新たな治療法が確立されることを目的としています。

(2) 研究の方法について

平成12年1月から令和3年3月までに本学顎顔面外科(旧第一口腔外科)にて顎関節滑膜軟骨腫症にて摘出手術を行った約25例(性別不問、対象年齢は16歳～上限なし)の試料の一部を用いて、細胞培養や遺伝子の抽出、病理標本の染色などを行うことで、発症に関与する因子や遺伝子について解析します。なお、次世代につながるような遺伝子解析は行いません。

(4) 研究終了後の試料・データの扱いについて

試料の使用や研究結果の公表時に個人の特定が出来ない様、匿名での管理を管理責任者(儀武啓幸)が行います。よって個人が特定されることはありません。

(5) 予測される結果と、利益、不利益について

本疾患は発症の原因や機序は未だ解明されておらず治療法は外科手術が第一選択とされています。本研究において、滑膜軟骨腫症の発症や発育に関与する因子を解明することで、将来的に、患者さんにより負担の小さい新たな治療法が確立されることを目的としています。

本研究は、過去に行われた手術で摘出された試料をもとに行うため、患者さんに直接の利益や不利益が生じることはありません。

(6) 本研究へのご協力に関して

顎関節の手術を受けられたことがある患者さんで、自身の試料の使用に同意いただけない場合は、遠慮なく担当歯科医師またはスタッフにお申し出下さい。本研究への参加の同意は患者さんの自由であり、お申し出されたことによって今後の治療に不利益が生じる事は決してありません。

(7) 研究成果の発表について

研究成果を、国内外の学術論文、学会発表、各種講演などにて発表いたします。その際には個人の特定が出来る形式での発表は行いません。

(8) 費用について

本研究にならびに今後の治療に関して、患者さんが負担する特別な費用は一切発生いたしません。

また、通常の診療費用の負担軽減や謝礼等はございませんのでご了承下さい。

東京科学大学病院 顎顔面外科 准教授 儀武啓幸

Tel : 03-5803-5738

対応可能時間帯 平日 9:00~17:00

E-mail : h-yoshitake.mfs@tmd.ac.jp

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課生命倫理グループ

Tel : 03-5803-4547 (対応可能時間帯：平日 9:00~17:00)